

# 野村クラウドコンピューティング& スマートグリッド関連株投信 Aコース/Bコース

## 運用報告書(全体版)

第6期(決算日2016年4月27日)

作成対象期間(2015年4月28日~2016年4月27日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Aコース	Bコース
商品分類	追加型投信/内外/株式	
信託期間	2010年4月16日から2020年4月27日(当初、2015年4月27日)までです。	
運用方針	野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券への投資を通じて、主として世界のクラウドコンピューティング関連企業の株式およびスマートグリッド関連企業の株式に投資し、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。	
	実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジ(先進国通貨等による代替ヘッジを含みます。)により為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。	実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Aコース/Bコース マザーファンド	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。 世界のクラウドコンピューティング関連企業の株式およびスマートグリッド関連企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Aコース/Bコース マザーファンド	株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。 株式への投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

## 野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104  
(受付時間) 営業日の午前9時~午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

## &lt;Aコース&gt;

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	基準価額			株組 入比	式率	株先 物比	式率	純資 産額
		税分	込配	み金 期騰 落					
2期(2012年4月27日)	円 11,137		円 250		% 1.4	% 97.3		% —	百万円 2,454
3期(2013年4月30日)	10,297		10	△	7.5	92.9		—	1,928
4期(2014年4月28日)	12,921		630		31.6	95.9		—	1,006
5期(2015年4月27日)	14,035		725		14.2	99.3		—	822
6期(2016年4月27日)	11,702		450	△	13.4	96.6		—	1,304

\*基準価額の騰落率は分配金込み。

\*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\*当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っておらず、また、当ファンドの主要投資対象であるクラウドコンピューティング関連企業およびスマートグリッド関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準	基準価額		株組 入比	式率	株先 物比	式率
		騰	落率				
(期首) 2015年4月27日	円 14,035		% —	% 99.3		% —	
4月末	14,031	△	0.0	96.8		—	
5月末	14,432		2.8	99.8		—	
6月末	13,452	△	4.2	98.7		—	
7月末	13,207	△	5.9	97.2		—	
8月末	12,275	△	12.5	96.1		—	
9月末	11,558	△	17.6	94.8		—	
10月末	12,888	△	8.2	97.7		—	
11月末	13,301	△	5.2	97.2		—	
12月末	13,259	△	5.5	92.8		—	
2016年1月末	11,286	△	19.6	90.9		—	
2月末	11,370	△	19.0	90.2		—	
3月末	12,176	△	13.2	93.6		—	
(期末) 2016年4月27日	12,152	△	13.4	96.6		—	

\*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

\*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## &lt;Bコース&gt;

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	基準価額			株組 入比	式率 %	株先 物比	式率 %	純資 産額
		税分	込配	み金 期騰 落					
2期(2012年4月27日)	円 10,192		円 30			% 97.6		% —	百万円 19,898
3期(2013年4月30日)	11,094		200			10.8 94.6		—	11,886
4期(2014年4月28日)	14,310		700			35.3 99.2		—	8,893
5期(2015年4月27日)	18,064		900			32.5 99.5		—	9,649
6期(2016年4月27日)	14,028		720			△18.4 96.3		—	6,095

\*基準価額の騰落率は分配金込み。

\*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\*当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っておらず、また、当ファンドの主要投資対象であるクラウドコンピューティング関連企業およびスマートグリッド関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準	基準価額		株組 入比	式率 %	株先 物比	式率 %
		騰	落率				
(期首) 2015年4月27日	円 18,064		% —		% 99.5		% —
4月末	18,075		0.1		96.8		—
5月末	19,299		6.8		97.2		—
6月末	17,855		△1.2		96.5		—
7月末	17,765		△1.7		95.6		—
8月末	16,170		△10.5		95.5		—
9月末	15,088		△16.5		95.1		—
10月末	16,953		△6.2		96.5		—
11月末	17,746		△1.8		94.6		—
12月末	17,428		△3.5		94.2		—
2016年1月末	14,808		△18.0		89.8		—
2月末	14,050		△22.2		90.9		—
3月末	14,957		△17.2		94.9		—
(期末) 2016年4月27日	14,748		△18.4		96.3		—

\*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

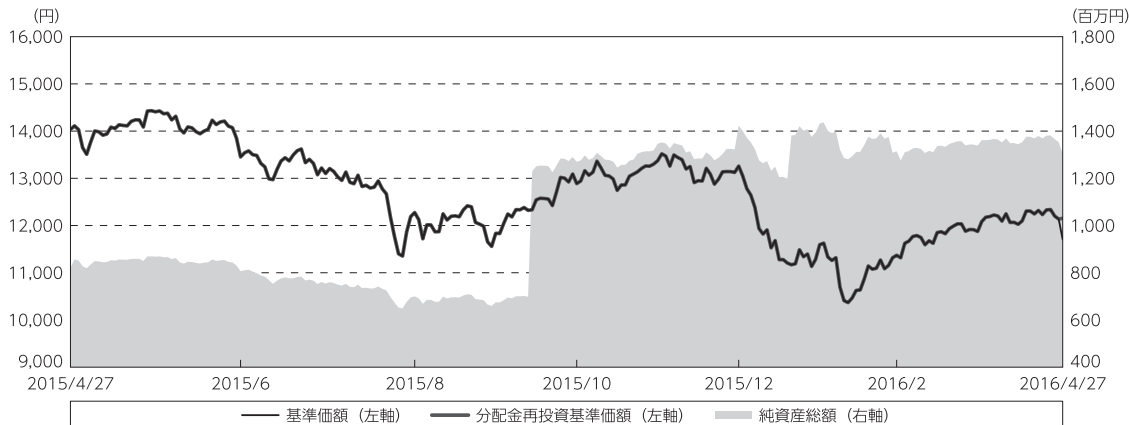
\*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## &lt;Aコース&gt;

## ◎運用経過

## ○期中の基準価額等の推移



期首：14,035円

期末：11,702円 (既払分配金(税込み)：450円)

騰落率：△13.4% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2015年4月27日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首14,035円から期末11,702円になりました。

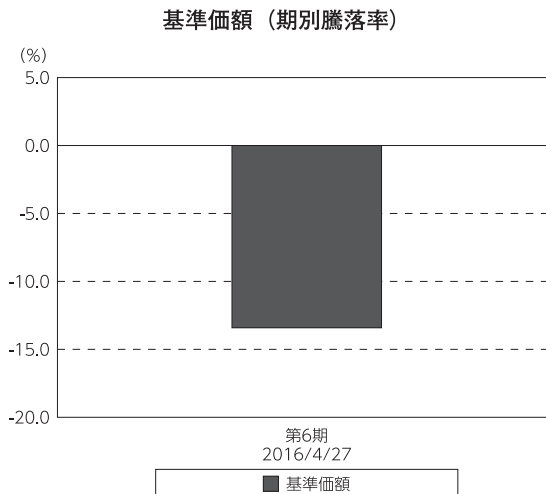
- ・ 2015年8月に、中国人民元の実質的な切り下げをきっかけに中国景気の減速懸念が高まり、中国経済への不安から世界景気への影響が警戒されたことなどを背景に株式市場が大幅に下落したこと
- ・ 2015年10月に、FRB(米連邦準備制度理事会)による早期利上げ観測が後退したこと、米国の企業決算が総じて市場予想を上回ったことや中国の追加金融緩和などを背景に株式市場が上昇したこと
- ・ 2016年1月に、中国景気の先行き不安感の高まりや原油価格の下落などを背景に市場のリスク回避姿勢が強まる中、株式市場が大幅に下落したこと
- ・ 2016年3月に、原油価格の続伸やFOMC(米連邦公開市場委員会)声明で年内利上げペースの減速が示唆されたことなどを背景に株式市場が上昇したこと

## &lt;Aコース&gt;

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っておらず、また、当ファンドの主要投資対象であるクラウドコンピューティング関連企業およびスマートグリッド関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

## ◎分配金

基準価額水準などを勘案し、Aコースで1万口当たり450円の収益分配を行いました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第6期
	2015年4月28日～ 2016年4月27日
当期分配金 (対基準価額比率)	450 3.703%
当期の収益	—
当期の収益以外	450
翌期繰越分配対象額	3,385

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## &lt;Bコース&gt;

## ◎運用経過

## ○期中の基準価額等の推移



期首：18,064円

期末：14,028円 (既払分配金(税込み)：720円)

騰落率：△18.4% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2015年4月27日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首18,064円から期末14,028円になりました。

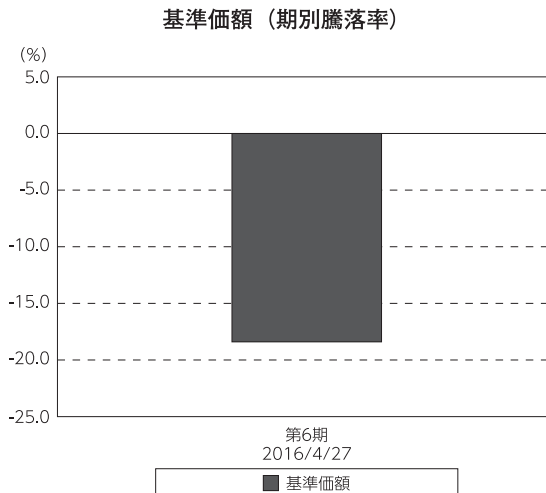
- ・2015年5月に、FRB(米連邦準備制度理事会)による年内利上げ観測が高まる中、米国と日欧との金融政策の方向性の違いが際立つこととなり、ドル高・円安となったこと
- ・2015年8月に、中国人民元の実質的な切り下げをきっかけに中国景気の減速懸念が高まり、中国経済への不安から世界景気への影響が警戒されたことなどを背景に株式市場が大幅に下落したこと。また、世界的な株安の中で市場のリスク回避姿勢が強まり、ドル安・円高となったこと
- ・2015年10月に、FRBによる早期利上げ観測が後退したこと、米国の企業決算が総じて市場予想を上回ったことや中国の追加金融緩和などを背景に株式市場が上昇したこと
- ・2016年1月に、中国景気の先行き不安感の高まりや原油価格の下落などを背景に市場のリスク回避姿勢が強まる中、株式市場が大幅に下落したこと
- ・2016年2月に、米国景気の減速懸念や原油価格の下落などを背景に市場のリスク回避姿勢が強まり、大幅にドル安・円高となったこと
- ・2016年3月に、原油価格の続伸やFOMC(米連邦公開市場委員会)声明で年内利上げペースの減速が示唆されたことなどを背景に株式市場が上昇したこと

## &lt;Bコース&gt;

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っておらず、また、当ファンドの主要投資対象であるクラウドコンピューティング関連企業およびスマートグリッド関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

## ◎分配金

基準価額水準などを勘案し、Bコースで1万口当たり720円の収益分配を行いました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第6期
	2015年4月28日～ 2016年4月27日
当期分配金 (対基準価額比率)	720 4.882%
当期の収益	—
当期の収益以外	720
翌期繰越分配対象額	5,789

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## <Aコース/Bコース>

### ○投資環境

FRBによる早期利上げ観測や中国景気の減速懸念などを背景に、期を通じては下落となりました。

為替市場では、期を通じては、米ドル及びユーロに対して円高となりました。

### ○当ファンドのポートフォリオ

〔野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Aコース〕および〔野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Bコース〕は、主要投資対象である〔野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド〕受益証券を高位に組み入れました。

### 〔野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド〕

#### ・株式組入比率

期を通じて概ね高位を維持しました。

#### ・期中の主な動き

- ・世界的な情報技術等の発展、普及により恩恵を受けると考えられる、世界のクラウドコンピューティング関連企業の株式およびスマートグリッド関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、株価の割安度、流動性等を勘案した上で投資銘柄を選定しました。クラウドコンピューティング関連企業とは、ハードウェア機能、ソフトウェア機能、アプリケーション等の様々なサービスを、インターネットを通じて提供する企業や、それら機能やサービスを提供するための媒体となる通信機器を製造する企業等をいいます。また、スマートグリッド関連企業とは、スマートグリッド構築にあたって、電力情報の双方向化、電源の分散化、電力供給の安定化等に寄与する、通信・制御システムを提供する企業や、送配電網関連機器や電力貯蔵装置等を製造する企業等をいいます。
- ・バリュエーション（投資価値評価）の観点から銘柄入れ替えや投資比率の変更を行いました。具体的には、フランスのウェブ広告サービス会社などを購入し、米国の共同購入クーポンサイト運営会社などを売却しました。



<Aコース/Bコース>

**[野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Aコース]**

・ **株式組入比率**

実質株式組入比率は、期を通じて概ね高位を維持しました。

・ **為替ヘッジ**

当ファンドの運用の基本方針に従い、実質外貨建て資産に対して対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

**[野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Bコース]**

・ **株式組入比率**

実質株式組入比率は、期を通じて概ね高位を維持しました。

・ **為替ヘッジ**

当ファンドの運用の基本方針に従い、為替ヘッジを行いませんでした。

<Aコース/Bコース>

## ◎今後の運用方針

### [野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Aコース]

主要投資対象である〔野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド〕 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。

### [野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Bコース]

主要投資対象である〔野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド〕 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジを行わない方針です。

### [野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド]

- ・世界的な情報技術等の発展、普及により恩恵を受けると考えられる、世界のクラウドコンピューティング関連企業の株式およびスマートグリッド関連企業の株式に引き続き投資をしていきます。
- ・テクノロジー分野においては、クラウド導入が今後も大きな流れであり続けると考えています。一方で、市場心理の変化や予期せぬ成長鈍化などにより株価変動が大きくなることも考えられるので、市場のリスクに注視してまいります。引き続き、組入候補銘柄を精査し、投資価値があると判断した銘柄をポートフォリオに組み入れていきたいと考えております。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしく願いいたします。

## &lt;Aコース&gt;

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2015年4月28日～2016年4月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 244	% 1.912	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(138)	(1.080)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
( 販 売 会 社 )	( 97)	(0.756)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
( 受 託 会 社 )	( 10)	(0.076)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 有 価 証 券 取 引 税	49	0.385	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
( 株 式 )	( 49)	(0.385)	
( 投 資 信 託 証 券 )	( 0)	(0.000)	
(c) そ の 他 費 用	6	0.047	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 6)	(0.043)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( そ の 他 )	( 0)	(0.001)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	299	2.344	
期中の平均基準価額は、12,769円です。			

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* 有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## &lt;Aコース&gt;

## ○売買及び取引の状況

(2015年4月28日～2016年4月27日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド	千口 516,440	千円 999,000	千口 176,384	千円 337,700

\*単位未満は切り捨て。

## ○株式売買比率

(2015年4月28日～2016年4月27日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	39,346,103千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	8,792,936千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	4.47	

\* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2015年4月28日～2016年4月27日)

## 利害関係人との取引状況

## &lt;野村クラウドコンピューティング&amp;スマートグリッド関連株投信 Aコース&gt;

区分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	
			B/A			D/C
為替先物取引	百万円 6,266	百万円 59	% 0.9	百万円 6,821	百万円 29	% 0.4
預金	323	323	100.0	323	323	100.0

## &lt;野村クラウドコンピューティング&amp;スマートグリッド関連株投信 マザーファンド&gt;

区分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	
			B/A			D/C
預金	百万円 1,656	百万円 1,656	% 100.0	百万円 1,656	百万円 1,656	% 100.0

平均保有割合 12.2%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

## &lt;Aコース&gt;

## ○組入資産の明細

(2016年4月27日現在)

## 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド	369,611	709,667	1,305,078

\*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

(2016年4月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド	1,305,078	93.7
コール・ローン等、その他	87,635	6.3
投資信託財産総額	1,392,713	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産(7,367,783千円)の投資信託財産総額(8,038,854千円)に対する比率は91.7%です。

\*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=111.28円、1香港ドル=14.35円、1ウォン=0.0974円。

## &lt;Aコース&gt;

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年4月27日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,647,158,736
コール・ローン等	14,102,117
野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド(同前)	1,305,078,032
未収入金	1,327,978,587
(B) 負債	1,342,474,319
未払金	1,273,822,270
未払収益分配金	50,169,709
未払解約金	5,762,354
未払信託報酬	12,698,499
未払利息	26
その他未払費用	21,461
(C) 純資産総額(A-B)	1,304,684,417
元本	1,114,882,431
次期繰越損益金	189,801,986
(D) 受益権総口数	1,114,882,431口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,702円

(注) 期首元本額は585,838,765円、期中追加設定元本額は740,761,834円、期中一部解約元本額は211,718,168円、1口当たり純資産額は1,1702円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額54,733,669円。(野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド)

## ○損益の状況 (2015年4月28日～2016年4月27日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	4,713
受取利息	5,010
支払利息	△ 297
(B) 有価証券売買損益	△ 73,891,277
売買益	160,956,388
売買損	△ 234,847,665
(C) 信託報酬等	△ 20,421,518
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	△ 94,308,082
(E) 前期繰越損益金	132,868,945
(F) 追加信託差損益金	201,410,832
(配当等相当額)	( 294,422,507)
(売買損益相当額)	(△ 93,011,675)
(G) 計(D+E+F)	239,971,695
(H) 収益分配金	△ 50,169,709
次期繰越損益金(G+H)	189,801,986
追加信託差損益金	201,410,832
(配当等相当額)	( 294,784,019)
(売買損益相当額)	(△ 93,373,187)
分配準備積立金	82,699,236
繰越損益金	△ 94,308,082

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2015年4月28日～2016年4月27日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2015年4月28日～ 2016年4月27日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	294,784,019円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	132,868,945円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	427,652,964円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	3,835円
g. 分配金	50,169,709円
h. 分配金(1万口当たり)	450円

## &lt;Aコース&gt;

## ○分配金のお知らせ

1 万円当たり分配金 (税込み)	450円
------------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合

分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合

分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合

分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

## ○お知らせ

- ①野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンドの運用の外部委託先であるRCMアジア・パシフィック・リミテッド (RCM Asia Pacific Limited) の名称をアリアンツ・グローバル・インベスターズ・アジア・パシフィック・リミテッド (Allianz Global Investors Asia Pacific Limited) に変更する所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2015年7月17日>

- ②有価証券の指図範囲に新投資口予約権証券を加える所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2015年8月3日>

## &lt;Bコース&gt;

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2015年4月28日～2016年4月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 319	% 1.912	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(180)	(1.080)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
( 販 売 会 社 )	(126)	(0.756)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
( 受 託 会 社 )	( 13)	(0.076)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 有 価 証 券 取 引 税	58	0.347	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
( 株 式 )	( 58)	(0.346)	
( 投 資 信 託 証 券 )	( 0)	(0.000)	
(c) そ の 他 費 用	8	0.047	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 7)	(0.044)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( そ の 他 )	( 0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	385	2.306	
期中の平均基準価額は、16,682円です。			

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* 有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。



## &lt;Bコース&gt;

## ○売買及び取引の状況

(2015年4月28日～2016年4月27日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド	千口 501,881	千円 1,030,900	千口 1,541,485	千円 3,216,300

\*単位未満は切り捨て。

## ○株式売買比率

(2015年4月28日～2016年4月27日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	39,346,103千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	8,792,936千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	4.47	

\* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2015年4月28日～2016年4月27日)

## 利害関係人との取引状況

## &lt;野村クラウドコンピューティング&amp;スマートグリッド関連株投信 Bコース&gt;

区分	買付額等 A			売付額等 C	うち利害関係人との取引状況 D	
	うち利害関係人との取引状況 B	B/A	うち利害関係人との取引状況 D		D/C	
預金	百万円 1,375	百万円 1,375	% 100.0	百万円 1,375	百万円 1,375	% 100.0

## &lt;野村クラウドコンピューティング&amp;スマートグリッド関連株投信 マザーファンド&gt;

区分	買付額等 A			売付額等 C	うち利害関係人との取引状況 D	
	うち利害関係人との取引状況 B	B/A	うち利害関係人との取引状況 D		D/C	
預金	百万円 1,656	百万円 1,656	% 100.0	百万円 1,656	百万円 1,656	% 100.0

平均保有割合 87.8%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

## &lt;Bコース&gt;

## ○組入資産の明細

(2016年4月27日現在)

## 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド	4,344,955	3,305,351	6,078,542

\*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

(2016年4月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド	6,078,542	93.0
コール・ローン等、その他	455,351	7.0
投資信託財産総額	6,533,893	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産(7,367,783千円)の投資信託財産総額(8,038,854千円)に対する比率は91.7%です。

\*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=111.28円、1香港ドル=14.35円、1ウォン=0.0974円。

## &lt;Bコース&gt;

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年4月27日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	6,533,893,207
コール・ローン等	55,351,113
野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド(附簿)	6,078,542,094
未収入金	400,000,000
(B) 負債	438,149,284
未払収益分配金	312,869,926
未払解約金	56,670,015
未払信託報酬	68,493,214
未払利息	104
その他未払費用	116,025
(C) 純資産総額(A-B)	6,095,743,923
元本	4,345,415,651
次期繰越損益金	1,750,328,272
(D) 受益権総口数	4,345,415,651口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,028円

(注) 期首元本額は5,342,014,060円、期中追加設定元本額は863,660,980円、期中一部解約元本額は1,860,259,389円、1口当たり純資産額は1,4028円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額54,733,669円。(野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド)

## ○損益の状況 (2015年4月28日～2016年4月27日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	47,142
受取利息	48,396
支払利息	△ 1,254
(B) 有価証券売買損益	△1,208,910,223
売買益	233,656,162
売買損	△1,442,566,385
(C) 信託報酬等	△ 154,473,244
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	△1,363,336,325
(E) 前期繰越損益金	1,891,629,175
(F) 追加信託差損益金	1,534,905,348
(配当等相当額)	( 935,746,631)
(売買損益相当額)	( 599,158,717)
(G) 計(D+E+F)	2,063,198,198
(H) 収益分配金	△ 312,869,926
次期繰越損益金(G+H)	1,750,328,272
追加信託差損益金	1,534,905,348
(配当等相当額)	( 936,946,859)
(売買損益相当額)	( 597,958,489)
分配準備積立金	1,578,759,249
繰越損益金	△1,363,336,325

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2015年4月28日～2016年4月27日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2015年4月28日～ 2016年4月27日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	936,946,859円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	1,891,629,175円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	2,828,576,034円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	6,509円
g. 分配金	312,869,926円
h. 分配金(1万口当たり)	720円

## &lt;Bコース&gt;

## ○分配金のお知らせ

1 万円当たり分配金 (税込み)	720円
------------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合

分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合

分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合

分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

## ○お知らせ

- ①野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンドの運用の外部委託先であるRCMアジア・パシフィック・リミテッド (RCM Asia Pacific Limited) の名称をアリアンツ・グローバル・インベスターズ・アジア・パシフィック・リミテッド (Allianz Global Investors Asia Pacific Limited) に変更する所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2015年7月17日>

- ②有価証券の指図範囲に新投資口予約権証券を加える所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2015年8月3日>

# 野村クラウドコンピューティング & スマートグリッド関連株投信 マザーファンド

## 運用報告書

第6期（決算日2016年4月27日）

作成対象期間（2015年4月28日～2016年4月27日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	世界のクラウドコンピューティング関連企業の株式およびスマートグリッド関連企業の株式を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。株式への投資にあたっては、独自のボトムアップリサーチにより各銘柄にレーティングを付与し、投資候補銘柄を選別します。各銘柄のレーティングに加え、株価の割安度、流動性等を勘案し、クラウドコンピューティング関連企業およびスマートグリッド関連企業の株式への投資配分にも配慮した上で、ポートフォリオを構築します。
主な投資対象	世界のクラウドコンピューティング関連企業の株式およびスマートグリッド関連企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。

**野村アセットマネジメント**

東京都中央区日本橋 1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		株組入比率	株先物比率	純資産額
	円	騰落率			
2期(2012年4月27日)	10,605	1.6	98.3	—	22,176
3期(2013年4月30日)	11,948	12.7	93.8	—	13,893
4期(2014年4月28日)	16,417	37.4	96.5	—	10,141
5期(2015年4月27日)	22,159	35.0	99.7	—	10,446
6期(2016年4月27日)	18,390	△17.0	96.5	—	7,383

\* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

\* 当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っておらず、また、当ファンドの主要投資対象であるクラウドコンピューティング関連企業およびスマートグリッド関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

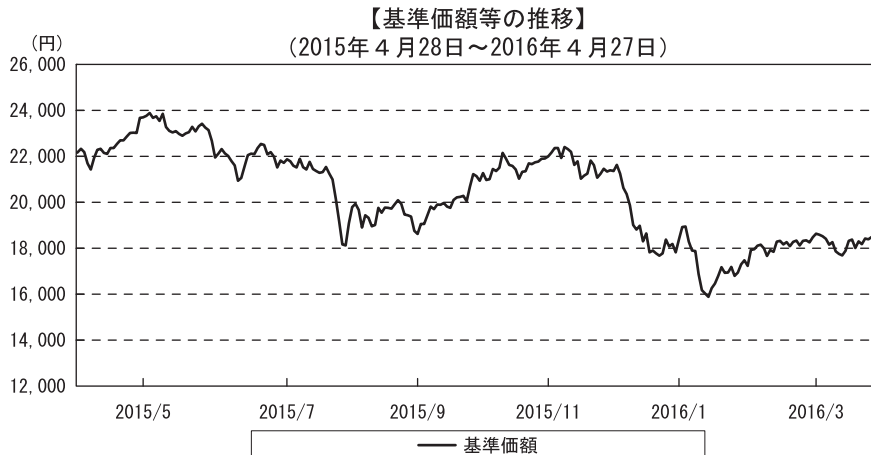
年月日	基準価額		株組入比率	株先物比率
	円	騰落率		
(期首) 2015年4月27日	22,159	—	99.7	—
4月末	22,179	0.1	98.0	—
5月末	23,695	6.9	97.2	—
6月末	21,948	△1.0	97.1	—
7月末	21,873	△1.3	96.1	—
8月末	19,936	△10.0	95.7	—
9月末	18,626	△15.9	95.1	—
10月末	20,965	△5.4	97.5	—
11月末	21,993	△0.7	95.4	—
12月末	21,623	△2.4	93.5	—
2016年1月末	18,386	△17.0	90.1	—
2月末	17,476	△21.1	91.0	—
3月末	18,632	△15.9	94.7	—
(期末) 2016年4月27日	18,390	△17.0	96.5	—

\* 騰落率は期首比です。

\* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



### ○基準価額の変動要因

基準価額は、期首22,159円から期末18,390円になりました。

- ・ 2015年5月に、FRB（米連邦準備制度理事会）による年内利上げ観測が高まる中、米国と日欧との金融政策の方向性の違いが際立つこととなり、ドル高・円安となったこと。
- ・ 2015年8月に、中国人民元の実質的な切り下げをきっかけに中国景気の減速懸念が高まり、中国経済への不安から世界景気への影響が警戒されたことなどを背景に株式市場が大幅に下落したこと。また、世界的な株安の中で市場のリスク回避姿勢が強まり、ドル安・円高となったこと。
- ・ 2015年10月に、FRBによる早期利上げ観測が後退したこと、米国の企業決算が総じて市場予想を上回ったことや中国の追加金融緩和などを背景に株式市場が上昇したこと。
- ・ 2016年1月に、中国景気の先行き不安感の高まりや原油価格の下落などを背景に市場のリスク回避姿勢が強まる中、株式市場が大幅に下落したこと。
- ・ 2016年2月に、米国景気の減速懸念や原油価格の下落などを背景に市場のリスク回避姿勢が強まり、大幅にドル安・円高となったこと。
- ・ 2016年3月に、原油価格の続伸やFOMC（米連邦公開市場委員会）声明で年内利上げペースの減速が示唆されたことなどを背景に株式市場が上昇したこと。

## ○当ファンドのポートフォリオ

### ・株式組入比率

期を通じて概ね高位を維持しました。

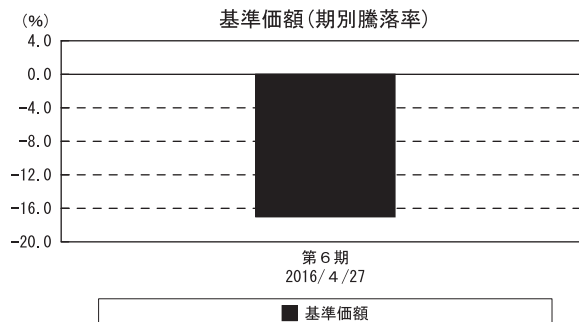
### ・期中の主な動き

- (1) 世界的な情報技術等の発展、普及により恩恵を受けると考えられる、世界のクラウドコンピューティング関連企業の株式およびスマートグリッド関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、株価の割安度、流動性等を勘案した上で投資銘柄を選定しました。クラウドコンピューティング関連企業とは、ハードウェア機能、ソフトウェア機能、アプリケーション等の様々なサービスを、インターネットを通じて提供する企業や、それら機能やサービスを提供するための媒体となる通信機器を製造する企業等をいいます。また、スマートグリッド関連企業とは、スマートグリッド構築にあたって、電力情報の双方向化、電源の分散化、電力供給の安定化等に寄与する、通信・制御システムを提供する企業や、送配電網関連機器や電力貯蔵装置等を製造する企業等をいいます。
- (2) バリュエーション（投資価値評価）の観点から銘柄入れ替えや投資比率の変更を行いました。具体的には、フランスのウェブ広告サービス会社などを購入し、米国の共同購入クーポンサイト運営会社などを売却しました。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っておらず、また、当ファンドの主要投資対象であるクラウドコンピューティング関連企業およびスマートグリッド関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



## ○今後の運用方針

- ・世界的な情報技術等の発展、普及により恩恵を受けると考えられる、世界のクラウドコンピューティング関連企業の株式およびスマートグリッド関連企業の株式に引き続き投資をしていきます。
- ・テクノロジー分野においては、クラウド導入が今後も大きな流れであり続けると考えています。一方で、市場心理の変化や予期せぬ成長鈍化などにより株価変動が大きくなることも考えられるので、市場のリスクに注視してまいります。引き続き、組入候補銘柄を精査し、投資価値があると判断した銘柄をポートフォリオに組み入れていきたいと考えております。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしく願いいたします。



## ○1万口当たりの費用明細

(2015年4月28日～2016年4月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) (投資信託証券)	円 73 (72) (0)	% 0.352 (0.352) (0.000)	(a)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	9 (9) (0)	0.044 (0.044) (0.000)	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	82	0.396	
期中の平均基準価額は、20,611円です。			

\*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2015年4月28日～2016年4月27日)

## 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	アメリカ	百株 41,756 (34)	千米ドル 156,791 (331)	百株 52,454 (167)	千米ドル 167,880 (470)
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	30	193	210	1,485
国	香港	4,120	千香港ドル 4,168	10,380	千香港ドル 7,454
	韓国	0.5	千ウォン 68,386	6	千ウォン 853,578

\*金額は受け渡し代金。

\*単位未満は切り捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

\*( )内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## 投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	アメリカ	口	千米ドル	口	千米ドル
	EQUINIX INC	6,425	1,895	3,320	1,048

\*金額は受け渡し代金。

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

## ○株式売買比率

(2015年4月28日～2016年4月27日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	39,346,103千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	8,792,936千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	4.47

\* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2015年4月28日～2016年4月27日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
預金	百万円 1,656	百万円 1,656	% 100.0	百万円 1,656	百万円 1,656	% 100.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

## ○組入資産の明細

(2016年4月27日現在)

## 外国株式

銘柄	期首(前期末)		当期		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
AKAMAI TECHNOLOGIES	—	93	491	54,644	インターネットソフトウェア・サービス
ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR	138	—	—	—	インターネットソフトウェア・サービス
ALPHABET INC-CL A	—	51	3,738	416,026	インターネットソフトウェア・サービス
AMAZON.COM INC	29	50	3,090	343,918	インターネット販売・カタログ販売
APPLE INC	657	438	4,575	509,119	コンピュータ・周辺機器
APPLIED MATERIALS	—	584	1,243	138,429	半導体・半導体製造装置
BROADCOM CORP-CL A	596	—	—	—	半導体・半導体製造装置
CARE.COM INC	190	203	123	13,751	インターネットソフトウェア・サービス
CISCO SYSTEMS	1,467	770	2,191	243,861	通信機器
COMCAST CORP-CL A	—	258	1,579	175,819	メディア
CORNING INC	296	658	1,265	140,816	電子装置・機器・部品
CRITEO SA-SPON ADR	—	611	2,581	287,316	インターネットソフトウェア・サービス
EXPEDIA INC	—	58	622	69,302	インターネット販売・カタログ販売
FACEBOOK INC-A	574	183	1,995	222,038	インターネットソフトウェア・サービス
F5 NETWORKS INC	139	—	—	—	通信機器
GOOGLE INC-CL A	48	—	—	—	インターネットソフトウェア・サービス
GROUPON INC	6,937	—	—	—	インターネット販売・カタログ販売
HOMEAWAY INC	1,304	—	—	—	インターネットソフトウェア・サービス
HORTONWORKS INC	—	113	134	14,988	インターネットソフトウェア・サービス
HUBSPOT INC	—	208	928	103,344	ソフトウェア
IPG PHOTONICS CORP	—	95	968	107,738	電子装置・機器・部品
INTEL CORP	948	947	2,974	330,962	半導体・半導体製造装置
INTUIT INC	—	80	831	92,571	ソフトウェア
JUNIPER NETWORKS INC	362	—	—	—	通信機器
LAM RESEARCH	200	51	410	45,678	半導体・半導体製造装置
LENDINGCLUB CORP	—	1,475	1,109	123,497	消費者金融
MASTERCARD INC-CLASS A	—	107	1,042	115,981	情報技術サービス
MAXIM INTEGRATED PRODUCTS	—	177	665	74,097	半導体・半導体製造装置
MICROSOFT CORP	1,118	1,073	5,523	614,623	ソフトウェア
MICROCHIP TECHNOLOGY	—	152	764	85,098	半導体・半導体製造装置
MICRON TECHNOLOGY	707	—	—	—	半導体・半導体製造装置
MICROSEMI CORP	—	333	1,231	137,087	半導体・半導体製造装置
NETAPP INC	—	188	462	51,468	コンピュータ・周辺機器
NEW RELIC INC	—	139	361	40,261	インターネットソフトウェア・サービス
ON SEMICONDUCTOR CORPORATION	2,477	1,588	1,586	176,594	半導体・半導体製造装置
ORACLE CORPORATION	—	470	1,910	212,628	ソフトウェア
PANDORA MEDIA INC	228	—	—	—	インターネットソフトウェア・サービス
QORVO INC	—	230	1,066	118,733	半導体・半導体製造装置
RED HAT INC	—	142	1,063	118,329	ソフトウェア
RENREN INC-ADR	4,656	—	—	—	インターネットソフトウェア・サービス
SALESFORCE.COM INC	612	227	1,732	192,756	ソフトウェア
SERVICENOW INC	84	—	—	—	ソフトウェア
SKYWORKS SOLUTIONS INC	329	225	1,617	179,953	半導体・半導体製造装置
SOLARCITY CORP	175	606	2,001	222,710	電気設備
TABLEAU SOFTWARE INC-CL A	150	288	1,429	159,053	ソフトウェア
TESLA MOTORS INC	73	54	1,394	155,157	自動車

銘柄	株数	当期		業種等		
		期首(前期末)	期末			
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
3D SYSTEMS CORP	—	624	1,124	125,179	コンピュータ・周辺機器	
TWITTER INC	337	1,124	1,995	222,034	インターネットソフトウェア・サービス	
VANTIV INC - CL A	—	166	901	100,365	情報技術サービス	
WESTERN DIGITAL CORP	136	—	—	—	コンピュータ・周辺機器	
YELP INC	1,170	1,054	2,229	248,125	インターネットソフトウェア・サービス	
TE CONNECTIVITY LTD	—	155	946	105,293	電子装置・機器・部品	
CYBERARK SOFTWARE LTD/ISRAEL	246	—	—	—	ソフトウェア	
NXP SEMICONDUCTORS NV	387	—	—	—	半導体・半導体製造装置	
AVAGO TECHNOLOGIES LTD	210	—	—	—	半導体・半導体製造装置	
BROADCOM LTD	—	97	1,462	162,732	半導体・半導体製造装置	
小計	株数・金額	26,993	16,163	63,372	7,052,093	
	銘柄数<比率>	32	41	—	<95.5%>	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ			
SAP SE	180	—	—	—	—	ソフトウェア
ユーロ計	株数・金額	180	—	—	—	
	銘柄数<比率>	1	—	—	<—%>	
(香港)			千香港ドル			
LENOVO GROUP LTD	14,480	8,220	5,318	76,318	コンピュータ・周辺機器	
小計	株数・金額	14,480	8,220	5,318	76,318	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<1.0%>	
(韓国)			千ウォン			
SAMSUNG ELECTRONICS	6	—	—	—	—	コンピュータ・周辺機器
小計	株数・金額	6	—	—	—	
	銘柄数<比率>	1	—	—	<—%>	
合計	株数・金額	41,659	24,383	—	7,128,411	
	銘柄数<比率>	35	42	—	<96.5%>	

\* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\* 邦貨換算金額欄の〈 〉内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

\* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

\* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

## 外国投資信託証券

銘柄	口数	当期		比率	
		期首(前期末)	期末		
(アメリカ)	口数	口数	千米ドル	千円	%
EQUINIX INC	—	3,105	1,024	114,061	1.5
合計	口数・金額	—	3,105	1,024	114,061
	銘柄数<比率>	—	1	—	<1.5%>

\* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\* 比率は、純資産総額に対する投資信託証券評価額の比率。

\* 金額の単位未満は切り捨て。

\* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

## ○投資信託財産の構成

(2016年4月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	7,128,411	88.7
投資証券	114,061	1.4
コール・ローン等、その他	796,382	9.9
投資信託財産総額	8,038,854	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*当期末における外貨建て純資産(7,367,783千円)の投資信託財産総額(8,038,854千円)に対する比率は91.7%です。

\*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=111.28円、1香港ドル=14.35円、1ウォン=0.0974円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年4月27日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	8,038,854,182
コール・ローン等	674,587,493
株式(評価額)	7,128,411,766
投資証券(評価額)	114,061,059
未収入金	118,015,919
未収配当金	3,777,945
(B) 負債	655,116,662
未払金	189,115,753
未払解約金	466,000,000
未払利息	909
(C) 純資産総額(A-B)	7,383,737,520
元本	4,015,019,101
次期繰越損益金	3,368,718,419
(D) 受益権総口数	4,015,019,101口
1万口当たり基準価額(C/D)	18,390円

(注) 期首元本額は4,714,566,807円、期中追加設定元本額は1,018,321,936円、期中一部解約元本額は1,717,869,642円、1口当たり純資産額は1,8390円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額  
 ・野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Bコース 3,305,351,873円  
 ・野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Aコース 709,667,228円

## ○損益の状況 (2015年4月28日～2016年4月27日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	80,867,307
受取配当金	80,680,183
受取利息	193,331
支払利息	△ 6,207
(B) 有価証券売買損益	△1,615,918,095
売買益	1,505,062,506
売買損	△3,120,980,601
(C) 保管費用等	△ 4,027,935
(D) 当期損益金(A+B+C)	△1,539,078,723
(E) 前期繰越損益金	5,732,349,436
(F) 追加信託差損益金	1,011,578,064
(G) 解約差損益金	△1,836,130,358
(H) 計(D+E+F+G)	3,368,718,419
次期繰越損益金(H)	3,368,718,419

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

\*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○お知らせ

---

- ①運用の外部委託先であるRCMアジア・パシフィック・リミテッド（RCM Asia Pacific Limited）の名称をアリアンツ・グローバル・インベスターズ・アジア・パシフィック・リミテッド（Allianz Global Investors Asia Pacific Limited）に変更する所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2015年7月17日>

- ②有価証券の指図範囲に新投資口予約権証券を加える所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2015年8月3日>

### <お申し込み時の留意点>

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようお願いいたします。

(2016年4月27日現在)

年 月	日
2016年4月	－
5月	16、26、30
6月	－
7月	4
8月	－
9月	5
10月	3
11月	11、24
12月	26

※ 2016年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご留意下さい。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ (<http://www.nomura-am.co.jp/>) にも掲載いたしております。